

# 広聴特別委員会記録

令和2年2月19日

【開催日】 令和2年2月19日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後2時30分～午後3時10分

【出席委員】

委員長	吉永美子	副委員長	中岡英二
委員	伊場勇	委員	奥良秀
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【事務局出席者】

事務局長	沼口宏	事務局主査	島津克則
------	-----	-------	------

【付議事項】

- 1 モニター意見について
- 2 議会報告会について
- 3 その他

---

午後2時30分 開会

---

吉永美子委員長 ただいまから広聴特別委員会を開会します。皆様の御手元に本日の付議事項があります。まず1点目です。モニター意見についてということで、2月いっぱいモニターさんに回答する必要がありますので、皆様の御手元に配らせていただいております。これはこちらで作成させていただいたので読み上げます。まず、委員会運営についてということで、1ページですが、貴重な御意見を提出いただき、ありがとうございます。一昨年12月定例会で民生福祉常任委員会が継続審査を決定したときも、同様の意見を頂きましたが、継続審査の決定は会期終了近くに行うべきであると考えます。どちらの案件も議論を尽くし、合意形成に努めるために継続したのですが、御指摘の点も踏まえ、会期を十分に活用した委員会運営を心掛けますというふうに、案として作らせ

ていただきましたが、皆様御意見いかがでしょうか。この回答でいいかどうかというのを頂きたいのですが、どなたか御発言をお願いします。

中村博行委員 基本的な考え方としては、これでいいんじゃないかと思います。ただ、案件がいろいろ千差万別と言えればそれまでですけど。案件によってはこれにとどまらないことも、予測が付きませんが、そういうこともあろうかと思いますが、基本的な、一般的な回答といえますか、これでいいと思います。

吉永美子委員長 中村委員から一般的な回答としてと言われて、正にそのような作り方をしております。いかがでしょうか。特に皆様から御意見がなければ、今回のモニターさんの意見に対して、この回答で行かせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）よろしければこれでいきます。次の2ページ目ですが、9月5日の民福委員会を傍聴してというところですが、このところですが、広聴特別委員会として、貴重な御意見を提出いただき、ありがとうございます。確かに御指摘のような議論、質疑がなかったのは事実です。委員の議案や市の施策に対する考え方は様々ですが、市民の負託に応えられるよう、今回頂いた意見も参考にし、議案の審査に当たっていきますということです。当然、担当委員会としてはいろんな思いがあるところなんですけど、これも一般的な広聴特別委員会としての所見を書いているという形です。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）異議ないということで、これで進めさせていただきます。それから次の9月19日、25日の産建委員会を傍聴してということで、広聴特別委員会として、貴重な御意見を提出いただき、ありがとうございます。一昨年の12月定例会で民生福祉常任委員会が継続審査を決定したときも同様の意見を頂きましたが、継続審査の決定は会期終了近くに行うべきであると考えます。どちらの案件も議論を尽くし、合意形成に努めるために継続したのですが、御指摘の点も踏まえ、会期を十分に活用した委員会運営を心掛けます。これも、広聴特別委員会として一般的な回答という形にしております。

森山喜久委員 2ページの下から3行目、市民の負託の負託という漢字はこれでよかったですか。

吉永美子委員長 負託はいいかな。いいんじゃないかな。付託案件とはちよっ

と違うかな。これでいいんじゃないでしょうか。付託案件とはまた違うと思うんですけどいかがですか。事務局よろしいですか。

島津議会事務局主査 議会基本条例の前文ありますように、市民の負託に応えるの負託は負けるです。

吉永美子委員長 負けるではなく、負うです。勝ち負けではありません。負うということです。では、これでよろしいでしょうか。異論がなければこれで、広聴特別委員会としての回答をこれを出したいと思います。

高松秀樹委員 回答は広聴が最後まとめるのか。

吉永美子委員長 最終的にはですね。

高松秀樹委員 書き方の問題で、例えば、広聴は貴重な御意見を提出いただき、ありがとうございますとあって、ほかは議運が出しているはずなんですよ。吉永委員長得意のである調であるとか、それを統一したほうが格好がいいと思います。広聴に統一したほうがいいと思います。

吉永美子委員長 より丁寧ということですので、ですます調でいきたいと思えます。この点を修正します。モニター意見についてはよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次の2点目の議会報告会についてです。皆様の御手元にありますけれども、先日、山陽小野田市議会に視察に来られました近江八幡市議会からの情報提供です。カラーの分はホームページに載っていたのを私が印刷したものです。写真は近江八幡市議会から事務局に送っていただいた分です。より、雰囲気分かるようにさせていただいて、お絵かきコーナーがあったりとかしながら、子どもたちも来て、飽きないような形をされている工夫は見られるかと思えます。こういう形でオープンなところということで、山陽小野田市議会の場合、もし、開こうじゃないかということになった場合は、正副委員長で考えさせていただいているのが、4月25日、土曜日のサンパークのギャラリーというところですよ。ここでどうだろうかということなんですけれども、今回の4月末に、いつもゴールデンウィーク前に行っておりますので、3月議会報告会ですね。そのときに、1日については外に出て、大型商業施設をお借りして、特に若い方、親子連れの方に、もっと議会に

対して関心を寄せていただき、気軽に御意見等を頂くという場を作ったらどうだろうかという、私ども正副の考えなのですが、この点について、皆さんから御意見頂けたら、うれしく思います。

宮本政志委員　ちょっと何点か。これは6会場と別ということですか。

吉永美子委員長　それですね、委員長として私的に思っていることは、これまで6会場、3会場ずつやって頑張ってきていただいて、プラスということは現実なかなか難しいところはあるかと思っていまして、それで6会場のうち、要は、1班の1会場、2班の1会場というふうに、時間は朝から夕方まで使える、その間のどこを取るかなんですが、なので、6会場のうち4会場プラス、ここを2会場とカウントして、6会場とはどうだろうかというというふうに思っているところです。片方の班だけだと、もう一方の班がどんな感じだったか全く分からないので、1班2班ともに携わるという形にしたほうがいいのではないだろうかというふうに思っています。まずは、大型商業施設を使って、自由に入っていくというやり方を、この日にやってみるといふところについては、皆様からの御意見を頂いて決定したいと思います。

宮本政志委員　費用は大丈夫ですか。

吉永美子委員長　費用につきましては、ちょっと交渉しておりまして、極力決まれば下げましょうというお話をいただいています。平日だと、このギャラリーは1日5,000円だそうです。土曜日が1万円、祝日が1万5,000円と聞いております。あとは交渉です。土曜日ですから、普通に使用料をお支払いすれば1万円です。公の行事なので協力をするというお話は頂いています。

杉本保喜委員　近江八幡市の例を見ると、この写真は人数が少ないなというふうに感じるんですけど、ここの実績はどうなんですか。

吉永美子委員長　来られたときに聞いたけど、たしか二桁だったと思います。何かアンケートみたいなのを、アンケートというのは、こういうようなあれをこっちだこっちだと、よく街頭で貼るのをやりますよね。書いてもらうんじゃないかと、どう思いますかというのを思わない、思うとか、

どちらでもないとか、何かこんなシールをポンポンと貼るようなアンケートを取ったりとか、ちょうど何かの案件事項があるらしくて、この近江八幡市が。それに対してもらったりとか、それでチラシ作ったりとか、市民というか、来られた方によって、早く帰った方もあれば、ある程度おられた方もあったような感じです。

高松秀樹委員 近江八幡市はそもそも議会報告会じゃないですよ。議会って何しているの。声を聞かせてください。塗り絵やクイズと。いいんですけど、これは恐らく認知活動として近江八幡市が取り組んだということなんで、こういう取組もおもしろいなというのが一つあります。委員長が言われるように、こういう場所で議会カフェをやるというのもいいんですけど、大前提が、この資料を頂いたんで、これは議会報告会じゃないということを僕たちは理解しておかないとまずいなという気がしました。

吉永美子委員長 近江八幡市議会では議会報告会というふうにはうたってはおられるんで、より市民に来てもらおうというところでの工夫じゃないかなとは思いますがね。

高松秀樹委員 ギャラリーを当たっているということでしょう。横の部屋でしょう。

吉永美子委員長 大きな大催事場の隣です。2階です。エスカレーターの横です。

高松秀樹委員 個室よね。

吉永美子委員長 個室です。それをばっと開いて。

高松秀樹委員 だから、基本議会報告会をやっても、一般の人が入らないですよ。

吉永美子委員長 やり方だと思います。

高松秀樹委員 だから、そこをきちんとしとかなないと、同じように議会カフェ

を同じような形でやりますといっても、なかなか効果が出ないと思うんですよね。その共通認識を持って、やるならやるという形にしたほうがいいのかという気がしますよね。

吉永美子委員長 だから、私どもが考えているのは入り口のところで、例えばゆるキャラがいたり、子どもに人気のあるのがいて、子ども連れの方がとにかく、月曜から金曜だと、どちらかといえば高齢者の方が来ているイメージが強いので、やっぱり土曜日とかで、買い物に来た若い夫婦とか、そういう若い方とか、そういう方もターゲットとしてというところで、子連れで気軽に寄って、何かちょっとでも話をして帰っていくという、そういうような仕組みができればというふうに思っています。実は具体的には、これが何年か前に議会基本条例でしたよね。あのときにこの赤いジャンパーを作っていました、これは個人というふうにしなくて、議会として作っています。こういうのを着て、入り口のところで目立って、今お聞きすると、大催事場は当日何も開かれないということなので、あそこの入り口を全部使えると思います。机を出すという意味ではなくて、あそこにも、大催事場に入る人の邪魔にはならない。そこは使わない、今のところ申込みがありませんと聞いています。（発言する者ある）エスカレーターがある横です。そうです。そこの横です。そこが大催事場です。そこの横にGと書いたギャラリーの部屋があります。だから、そこの扉バーッと開けて、余り大きいとちょっと寂しかったらいけないので、一応そういう形でどうかなというところなんです。

伊場勇委員 高松委員がおっしゃっていた議会報告会じゃないんじゃないというところで、要綱にも議決の概要、議会の活動状況、その他必要となる事項を報告するという、近江八幡市のこれは、本市としては議会報告会には該当しないと思います。これはまた違う、議会を知ってもらう啓発活動みたいな活動ですものならいいと思いますけど、報告会ではないというふうな位置づけなんじゃないかなというふうに思います。あとさっき、入り口でお客さんを呼ぶとかですね、呼んで、ある程度集まったら議会報告会が始まるのかとか、そういったところのタイムスケジュールもそうだし、何人で客引きするのとか、何かその辺の雰囲気はちょっと口頭で何か見えてこないというところはあります。盛り上がったらすごくいいなと思うんですけど、何かあたふたして、子ども連れが来ても何かよく分からん感じになってみたい、何かそういうふうにも陥るよう

な気もするので、その日の行程表とか、役割の分担表とか、サンパークだと多分いつもやっている形状と全く違うと思うので、そこら辺をちょっと提示してもらって、そこでまたみんなでもまないと、なかなか議論にならないのかなというふうなところを感じます。

吉永美子委員長 だから、最初に皆さんにお聞きしたいところは、こういった試みはいかがですかということで、やるべきではないということになれば、最初からここではやらないということになるので、そこをまずお聞きを、やらないほうがいい、議会報告会というのに当たらないだろうということで、今回はこれについてはしないという方向であれば、もうそれ。やろうということで、もしなっていけば、例の企画部会とPR部会ということでやっていますので、やはり部会でしっかりと練っていったほうが、ここでやるよりも、それを持ち寄って、この委員会できちんと決めたほうがいいのではないかと私は思っているんですがいかがですか。開催も含めて皆さんに御意見を。

宮本政志委員 伊場委員が言われたことが一番重要で、委員長、副委員長としたら、この前提は別段今の要綱に書いてある議会報告の報告内容ということで列記されていますので、それをこの場で盛り込めば、報告会に一応該当するんで、当然、その内容でもいいですよという考え方ですよ。全く議案の報告とかは一切しませんとなると、要綱からちょっと外れるんで、伊場委員がおっしゃったとおりになるんですけど。

吉永美子委員長 全く外れたという形とはちょっと違うと思っていますよ。ただ、先ほど言いましたように、ぽっと寄って、何か気を引くようなだけあれして、チラシだけ持って帰る人も多々いるかもしれない。ただ一つは、大きな目的としては若い方に、やっぱり山陽小野田市議会というものを知ってもらうということにはつながるのではないかとこのころです。だから、議会報告会としての報告という部分は、この中でどう行っていくか。スライドとかで流すとか、いろんなやり方があると思うんですよ。なので、とにかく一回ここでやってみようということを皆さんで一致をもししていただければ、企画部会とPR部会できちんと練るということをしていきたいと思っていますんですけども。

中岡英二副委員長 近江八幡市の議会カフェを一番参考にしたのは、商業施設



でやるという、この開催の方法ではなく、そういうのを商業施設でやる。そして若い人を一人でも呼び込みたいという思いで、これを参考にしたと思います。だから、先ほど高松委員が言われたようにスライド上映とか、広聴コーナーとか、塗り絵とかは余り今のところ考えていない。要はやる場所を参考にした。それと、議会報告会の概要ですけども、これはやるかやらないかをお聞きして、その後、やるんだったら、今までの議会報告会プラス、商業施設に来られた方に対して、会場の入り口で、係を決めて、「入ったらどうですか」とか、そういうやり方というのは今からのことだと思うんです。だから、やり方とすれば、今から練っていくということだと思うんです。

長谷川知司委員 議会カフェということには該当しないかもしれないけど、今までのやり方を変えていく、前向きに変えていくという手法の一つとして私はやってもいいなと思うんです。というのは何年か前に、未就園児のお母さん方に、こちらから出掛けて行って、議会報告会というのをしたことがあるんですね。それは報告かといったら、そういう報告はしてないんですけども、お母さん方に議会というものを分かってもらおうということで、そのとき紙芝居を持って、お母さん方と子どもたちに分かりやすい議会を説明して、そのあと生の声を聞いたということなんです。余り固く考えないで、一つ試行的にやってみるということではいいんじゃないかなと思っております。それともう一つ私が心配なのは、近江八幡市のほうは、部屋でなくて、オープンスペースでやっているわけですね。だから、もしできれば部屋ではなくてオープンスペースのところやったほうが、より人も呼び込みやすいし、来やすいかなという気がちょっとしております。

吉永美子委員長 その点については、一階の、いつもこう何かやられているあそこをお願いしたんですが、あそこやはり収入を取るところだということで、サンパークとしては、ちょっとそこは無理でした。ただ、サンパークとして、今度、期日前投票場となるということで、あそこを使うということには前向きかなという感じはあったので、あの辺を使うんでしょうから、いずれにしても、今回借りるようなところですね。

奥良秀委員 この資料の中で、来られている方を見ると、そんなに若い方というか、来られているのかなあという部分があるんですが、商業施設とい

うことで、サンパークという名前が出たんで、サンパークに断定してお話しするんですが、確かに若い人はサンパークに多いと思いますし、これが何曜日にやられているのか、そういう情報が全然分からないんで、何とも言えませんが、多分こういう状況じゃないと思うんですよ。

吉永美子委員長 日曜日です。

奥良秀委員 日曜日でこんなことは多分ないと思うんですよ、サンパークで。これどう見ても、商業施設が閑散としていますよね。見た感じでは、そうお客さんがテナントについているようには見えないんですよ。これで本当に収拾がつくのかどうなのか。定例会ごとに6会場で議会カフェをやっていますが、かなり熱心な御意見を持たれている市民の方が来られています。会場の中であれだけ喋って、私たちも一生懸命聞き漏らさないように聞いていますが、かなり、聞けない部分も多々あると思います。これをオープンでこういうふうなことをした場合、聞き取れるのかなと思います。あともう一つが、今まで定着して、6会場やっています。それを楽しみに待たれている市民の方もいらっしゃると思います。そういう中で、6回のうち2回をこういうところでやりますよといったときに、今はどちらかというところ、その地区の住民の方たちの議題というか、問題が議会カフェの中でどんどん上がってくる中、こういったところに来るのかなと思います。それプラス、今回これは、客引きという言葉がありましたけど、お客さんを呼び込んでやる方向をしたいと委員長、副委員長は言われているんですが、今動員を掛けていますが、この2回のときには動員はなしということで、お考えなんですか。その辺りのお考えをお聞きかせください。

吉永美子委員長 何ていうかな、こちら側というよりも、皆さんでどういうふうにしたらより多く来ていただけるかというのは、議論して決めていきたいと思います。

奥良秀委員 ですから、もちろん、私たちがここで話すんでしようけど、投げ掛けとしてはどういう方向性を持たれているのかというのを教えていただきたいなというのがあります。

吉永美子委員長 先ほど申し上げた、ここをまずはどうするかという、やる、

やらないというところから始まって、それで具体的に詰めてするのを、  
どういう内容にするかというのを企画部会、そしてまた、どういうチラシ  
作ったら、いろんな呼び掛けをして、どう多くの市民に来ていただく  
かということをPR部会でちゃんと決めていくというのをしていかないと  
いけないというふうに思っているんですよ。最後にみんなが集まって、  
委員会で、これで行こうということではしていかないと、なかなか話が進  
まないかなと思っているんですけど。

奥良秀委員 最終的に企画とPRで話し合いを始めました。で、いろいろ話した  
結果、やっぱり駄目ですねという方向性もあると思うんですよ。そう  
いったときには別に問題ないんですよ。

吉永美子委員長 最終的には、やる、やらないというのは部会の中でもまた議  
論にはなると思いますが、できれば、やるか、やらないかというか、そ  
ういう方向性というのをある程度ここで決めることができるという気  
持ちはあります。

宮本政志委員 委員会でやると決まったら、PRか企画がやらないというのは  
言えないでしょ。それから、委員長の中では、要綱にある報告内容も踏  
まえてやるということは議会報告会に該当してきますよと。そうすると、  
高松委員がさっき言ったところがやっぱり根っこで、議会報告会になら  
ないのであれば、原則6会場ですから、原則6会場と別に、こういった  
ことをやりませんか、この委員会に諮らんといけないですけど、先ほ  
ど委員長の発言でいくと、議会報告会に該当する。つまり報告会として  
やるということですから、それも踏まえて、やるか、やらないか、先ほ  
どから委員長がおっしゃるように、この委員会で決めて、あとはPRの  
方法と、どういう内容でやっていくかというのはPRと企画で分かれて  
ということで、まず、やるか、やらないかですよ。

高松秀樹委員 ここでやるか、やらないか決めるって、やりますとなったら企  
画もそれでやらなくてはいけなくなるので、企画部会にこういう場所が  
ありますと、こういう場所を活用して、何ができるか考えてくださいと  
いうふうに頂ければ、また検討はできると思います。

吉永美子委員長 それであります。先ほど私が申し上げたのは私の考え

方で、長谷川委員長がおっしゃってくださった児童館に行ったときは6会場より増えているんですよ。だから、そういうふうにするかどうかというのが大変だと思ったので、4プラス2かなと私は思ったわけですから、その辺も含めて、できれば、企画部会で練っていただきながら、PRがどうしていくかというところで、できればやりたいので、先ほどから何回も言いますが、ここを借りてやるということを決めていただけたら、それから進めていきたいんです。いいですか、ここを借りるということは決めても、4月25日。

中村博行委員 先ほど奥委員から出たように、6会場を4会場にしてというふうに、さっき言われたんでしょう。

吉永美子委員長 それは私の考え方です。

中村博行委員 2会場を削除するわけですよね。そこで待たれている人、またれている会場、例えばAという会場があったら、2定例会に1回やりますよね。1回飛ぶと半年ぐらい飛んでしまうから、その地域に行かないようになることも考えられるわけですよね。そうすると、それが良いか悪いかというのがあるので、6会場プラス1でこれをやるということかどうかということも考える大きな材料ではないかと思います。そうしないと4会場で待たれている、あるいは、その地域の問題が上がってきているのが、半年ぐらい抜けてしまうとどうかなという考え方も当然あるというふうな気がしますので、まず、6会場をどうするのか。これを、6会場プラス1にするのか、さっき言われたように、4会場にして、午前、午後ぐらいで2回するか。その辺りが決まらないと決まららないという気がします。

宮本政志委員 次の6会場でサンパークの近く、須恵か商工センターが絡んでないですか。

吉永美子委員長 次はどこになりますか。

島津議会事務局主査 順番ですと次は須恵校区となります。もしくは高千帆、それから、厚陽となります。

高松秀樹委員 企画部会にという話があったでしょう。だから、企画部会に対して、こういう会場が議会報告会等に活用できるかどうかを検討してくださいと振られたほうがいいですよ。企画部会の中で、いろんな方策を考えながら、今みたいなことも協議しながら進めますから、宮本さんが。

吉永美子委員長 ここを使うかどうかを今の委員会で決定をしておいたほうがいいんじゃないですか。あんまり時間がないわけですよ。だからなんですけど。3月25日にはこれを出さないといけないんですよ、議員の皆さんに、これを。それを考えるとあんまりゆっくりできないので、この委員会でどんな形にしろ、ここを借りてやるかどうかというのは決定していただいたほうが進めやすいんですけど。その後、どういう形にするかを企画部会で考えていただいたほうがいいかなというふうに私は思ったんです。（発言する者あり）委員会で決めておくのは何会場するかということになるんですか。（発言する者あり）考え方として、これを借りるとしたら、6会場プラスここにするのか。例えば1班が3回、2班が3回やってきたわけでしょ。それはそのままのほうがいいよねとなれば、どこかを削らんと、これは入るとしたら入らなくなるわけじゃないですか。そこは決定をしておきたいんですよ、今日。ここを使わないほうがいいとなれば、最初からこれをボツにしますので、ここを借りるという方向でやるとしたら、そこを皆さんが総意でやってみようとなれば、それから前に進むんだけど、それは決定してもいいでしょうか。それも決定してはいけないですか、委員会で。（発言する者あり）だから、先ほど言いましたように企画部会で考えた結果、ちょっと難しいよねとなったときはいたし方ないかなと思ったけど、できれば。（発言する者あり）そうじゃなくて、ここでやってもいいよねという総意がなければ進まないから。ここは使うべきじゃないと最初からなければ、この検討に入りません。

高松秀樹委員 やってもいいよねという話ですけど、場所はおもしろいと思うんですよ。率直にいうと、ターゲット誰ですか。奥委員が言ったでしょう。動員掛けて来るんですか。そうじゃないんですか。吉永委員長は、そこにいる人を呼び込みますと。絶対、現実的ではないんですよ、1時間半とか1時間拘束するものに対して。そう思わないですか。これは議会報告会にするのか、それとも違う活動にするのかは、また、議論があるところなんですよ。だから、それを企画部会でやったらどうかと思う

し、議会カフェはうまいこといかないかと僕はイメージしているんですよ、このままやると。それだったら、先ほど言ったように、ここと一緒ですよ。認知活動としてやるのか。それとも、議会カフェをやるんだけど、基本は広報活動に中心を置いてやるのかとか、それを企画部会の中である程度練って、それでここに持ってきて、皆さんで最後話したらどうか。場所としてはいいですよ。委員長と全く一緒です。こういう場所を使って、何かしらできるというのはおもしろいよなというのがあるんですけど、ここで恐らくコンセンサスが取れないと思います、今の状況では。

長谷川知司委員 3月の議会カフェと切り離して、3月の議会カフェは予定どおりするならするでいいんですけど、このことは、議会カフェという形を使った中での啓蒙活動というか、議会を皆さんに知っていただく活動だと割り切れば、無理に4月25日ということではなくても、皆さんの企画と広報が話した結果をもって、サンパークに当たって、空いている日を探せばいいと思うんですね。3月議会と一緒に考えるから、すごくタイトな形になったと思うんですね。

吉永美子委員長 今の御意見に対してどうでしょうか。そうすると、元に戻って、4月のゴールデンウイーク前に、これまでと同じように6会場をまずやるという方向で考えていくということに戻りますが、よろしいですか。それと合わせて、これをどうするかというのを企画部会で考えていただくということでもいいですか。これまでと同じで、議会報告会については、前回と変えて6会場、これをゴールデンウイーク前ということであれば、22、23、24ぐらいになると思います。その日程だけ決めていいですか。極力4月の下旬に近づけて考えていますが。（「はい」と呼ぶ者あり）よろしいですね。それを決定して、おのだサンパークでやる分についてはどうしていくかということを経営部会で考えていくこととなります。日程は22、23、24で前回と逆の6会場に当たっていくわけですが、空いていれば、この日で行うということでやっていきたいと思います。このときに、事務局にまとめたのを出していただきますけど、それぞれの委員会で回答を残していた意見、御要望とか、次の会場でお知らせすべきものを決定していただくことをしたいと思います。それと、企画部会とPR部会を作るということは、決定をしていると思っておりますので、発表させていただきたいと思

ます。企画部会を高松委員、中村委員、水津委員、奥委員、伊場委員、そして、中岡副委員長ということで、企画部会の部会長を高松委員でお願いしたいと思っています。PR部会を宮本委員、杉本委員、長谷川委員、森山委員、そして吉永ということで、部会長を宮本委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）異議なしということで、今後、部会で議論していただくことはこの部会にお願いしていきたいと思っております。日程の6会場だけは決めておきますので、あとは皆さんのほうからなかったですかね。よろしいでしょうか。（「なし」と呼ぶ者あり）なければ、本日の広聴特別委員会を閉じます。

---

午後 3 時 1 0 分 散会

---

令和 2 年 2 月 1 9 日

広聴特別委員会委員長 吉 永 美 子